

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年 3月 31日

事業所名 ミライムキッズアカデミー福島旭町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	8		規定より加配を付けて、手厚くしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		構造化して、個々の特性に配慮している。 バリアフリーは部分的にさせている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		朝夕に片付けや消毒作業、整理整頓をしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8		朝夕にミーティングを行い、振り返りすることで課題や改善点を洗い出している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		保護者会やアンケート調査を行い、改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8		
	9	職員の資質の向上を行ったために、研修の機会を確保している	8		zoom研修を積極的に実施。講師を招いての合同研修をしている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		多種多様なプログラムで提供されている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		職員で必ず共有し、役割分担を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		その都度、利用するお子さんに合わせ活動を工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		朝のミーティングで注意事項等を共有、確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		帰りのミーティングで振り返り、話し合いをしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		HUG(ネットワーク)を通して写真と文書を掲載している。	
関係機	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8			
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		8		そもそも対象となるお子さんがいない。	利用がある場合は環境を整える。

閣や保護者との連携関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合の子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	対象となるお子さんがいない。	利用がある場合は環境を整える。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	放ディと連携している。	必要に応じ情報交換を行っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	支援内容(サポートシート)で伝えている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	お子さんの特性上難しい。	外部講師を呼んでいる。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	放ディ協議会に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	定期的な懇談以外にも相談事がある時はメール等も利用し随時行うようにしている。	お子さんの変化をメール等で聞き取り共通理解を深めていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	保護者会を年4回実施している。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	月刊おたより発行	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	契約時に写真掲示の同意を得ている。守秘義務。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	メールやボード、HUG、写真で情報共有し、それ以外にも懇談や家庭訪問を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	えっぱらまつり。山内先生の講演会。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	年間スケジュールで子どもの活動の中に取り入れている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	8	必要に応じて服薬情報を紙面で保護者より確認させていただいている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	契約時に情報を得て必ず共有し配慮している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	他教室の情報も各教室のミーティングで周知し共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

事業所名 ミライムキッズアカデミー福島旭町教室

保護者等数(児童数) 25(27) 回収数 27 割合 100 %

		チェック項目	はい どちら ともない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	19	7		1	・家ではなかなか取り入れられないあそびなどをできている。 ・教室は手狭な印象だが、上手く工夫してスペースが確保されている。
	2	職員の配置数や専門性は適切である	24	2		1	・STの先生がいたら巡回して療育等見てほしい ・専門性については不明である。 ・具体的な人数は分からないので、保護者にも分かるといい
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	24	1		1	・1日の流れや遊びの順番などをイラストでわかりやすく伝えている ・車いすが通れるか、などと難しい ・パーテーションが古いのが少し気になる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	25	2			・その場に応じた環境になっていると思う。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	26			1	
	6	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	21	2		4	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	25			2	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	23	1		3	・自分の家ではできない事を色々とやってくれてうれしい ・就学に向けて、少しづつ内容を教えていただいている部分も良い、良い
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	5	3	13	・年上のお兄さん、お姉さんに遊んでもらい刺激を受けている ・どのくらいイベントがあるか知らなかった ・コナ禍で難いと思う ・個人的にはこども園を併用しているので障がい児の交流もできる ・合同イベントの時、きょうだい児や健常のお友達も参加できたらうれしい
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	26			1	・変更等ある時には説明いただけると助かる
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	27				
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングⅣ等）が行われている	18	4		6	・いつも相談にのってもらっている ・ペアレントは受けてはいないが保護者向け研修会等勉強になった
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解がでているか	25	1		1	・送迎時やアプリで共有できている ・毎回ネットツールで利用の様子や丁寧なコメントをいただけるので助かる ・お迎えの時に保育所では簡単な口頭伝達があり、そのような場が短時間でもあるとありがたいと思った ・帰宅後に電話をする、懇談でお話するなど、日頃の様子を伝える時間を確保している。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	24	1		2	・支援計画時にいろいろ相談にのっていただきありがとうございます
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	18	2	1	6	・まだ多い始めたばかりなので存在するかわからない ・行きたい時間や場所に参加が難しい ・月刊誌やお便り、メールにて保護者会を含むイベントの周知を行っている
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知、説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	23	1		3	・電話や送迎時、アプリなどで相談したりアプリなどで周知している ・悩みことなど面談で丁寧に聞いて頂き、説明して頂けるのでありがたい
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	25			2	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	25			1	*未回答1件あり。
非常時等の対応	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	25	1		1	
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	16	4		7	
満足度	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	10	2		14	・今の所わからない 月刊誌により避難訓練の実施を周知している。 *未回答1件あり。
	22	子どもは通所を楽しみにしている	26	1			・楽しみなのか前に「明日はミライムだよね？」と確認してくれる ・今日もミライムじゃないとわかるとがっかりするくらい大好き ・お弁当を持って先生、お友達と遊ぶと張り切って通所している。
	23	事業所の支援に満足している	27				・先生方の支援についていつも感謝している

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。